

「ふるさと住民登録制度 活用ワークショップ」のご案内

射水市役所 未来創造課

1 開催概要

- ・研修名： ふるさと住民登録制度 活用ワークショップ
- ・日 時： 11月15日（日） 午後1時30分から（2時間程度）
- ・会 場： 射水市役所本庁舎3階 302会議室

「自分たちの活動に新しい風を取り入れたい」「今後の団体の継続に向けて外のファンと繋がりたい」とお考えの代表者様や、団体の活動を担うメンバーの方は、ぜひ本研修へご参加ください。

2 「ふるさと住民登録制度」とは？（令和8年度末スタート予定）

一言でいうと：「射水市外に住むファンを、射水の『ふるさと住民』として登録・応援してもらう仕組み」です。

【仕組みのイメージ】

進学などで市外に出た元市民や、射水市の活動に共感した市外の人に「ふるさと住民」として登録してもらい、アプリ等を通じて市の様々な情報をお届けします。

【地域の皆さんにとってのメリット】

単なる観光客ではなく、「自分たちの団体活動を一緒に手伝ってくれたり、企画に協力してくれる仲間（助っ人）」として関わってもらうきっかけが生まれます。

3 なぜ今、「ふるさと住民（ファン・関係人口）」の力が必要なのか？

- ・地域の担い手不足という共通の課題：射水市内でも人口減少や少子高齢化が進み、「イベントや地域活動の担い手が減っている」「若い世代の参加が難しい」といった悩みを抱える団体が増えています。
- ・「住んでいる人」だけに頼らないまちづくりへ：市外へ進学・就職で引っ越した若者や、射水のイベント・お祭り・特産品が大好きな市外のファン。こうした「射水市と関わりを持ち続けたい人（ふるさと住民）」の力を、地域の新しい活力として巻き込んでいくことが重要になっています。

4 今回のワークショップを実施する理由・趣旨

- ・「制度の説明会」ではなく「現場で使える実務」の場です：行政が制度の理念を一方向的に説明するのではなく、「自分たちの団体で、実際にどう『ふるさと住民』を受け入れ、一緒に活動するか」を具体化するワークショップを行います。
- ・お互いがハッピーになる「持続可能な協力関係」づくり：地域側だけがもてなして負担が増えたり、関わる側だけが楽しむ形では長続きしません。「地域側も助かり、外から来る人も喜ぶ」という、双方にとって良い関係（受け皿）をどう作るかを一緒に考えます。

5 ワークショップに参加することで得られるメリット

- ① 活動の「新しい協力者・アイデア」が見つかる：「イベントの SNS 発信を手伝ってほしい」「若い視点で企画を一緒に考えてほしい」など、自分たちが求めているサポートを言語化し、外の力とマッチングするノウハウが身につきます。
- ② 全国・市外への情報発信：研修内で形になったプロジェクトや「一緒にやりたいこと」は、スマホアプリ等を通じて全国・市外へ発信し、参加者を募集します。